

# 二条中通信

第 26号  
二条中学校  
H21.1.6  
文責：直江秀樹

\*【学校教育目標】 学ぶ楽しさを実感し、夢を持ち夢を実現するために努力する生徒の育成

## 「蔵の財より身の財、身の財より心の財第一なり」

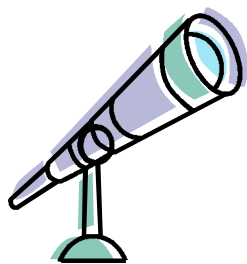
新年明けましておめでとうございます。昨年は、本校の教育に対しまして多大なご協力とご支援を賜りましてありがとうございました。心よりお礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。



2009年がスタートしました。今年国際連合やユネスコが定める「世界天文年」です。人は自分が行くことのできない遠い空に、あこがれの気持ちを持っています。今から400年前イタリアの科学者であるガリレオ・ガリレイは、自分で作った望遠鏡ではじめて夜空を見あげて、新しい宇宙の発見をもたらしました。それまで何世紀にもわたって信じられてきた地球中心の宇宙観（天動説）が誤りであったことを証明しました。

ガリレオが最初に観測した天体は「月」でした。1609年当時の考えでは、「月はまんまるですべての球体である。」と考えられていました。しかし、ガリレオの望遠鏡によって表面にでこぼこがあること、つまり山や谷があることを発見します。そして、そのちに木星に4つの衛星があることを発見して、地動説の正しさを実際に確かめることができたのです。

また、星についても驚きがありました。今から400年前、自然環境は今とは比べ物にならないほどで、夜空の星も肉眼でたくさん見ることができたでしょう。皆さんも花脊山の家で宿泊した時や海で見上げた夜空の星は驚くほどたくさん見ることができると報告しています。特に天の川には、何千もの星が見えたといいます。人類はそれまで夜空を横切る淡い光の帯が何かを問い続けてきたのに、ガリレオは瞬時にその謎を解いてしまったわけです。



ガリレオは、まだピサ大学の先生をしていたころ、ピサの斜塔で行った「落下の法則」実験も有名です。これもそれまでの常識を実験によってひっくり返したわけです。ガリレオの探究心は若い時から旺盛で、自分で確かめることなしでは納得しなかったのでしょう。

世間で常日頃言われている常識を、そのまま鵜呑みにすることなく、自分を信じて生き切った人物がいたからこそ、はるか遠い宇宙への扉が開かれたといえるでしょう。

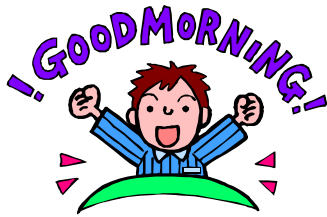
（参考『ガリレオ』知の再発見双書 創元社）

つい先日始まった大河ドラマ「天地人」は、戦国時代に生きた直江兼続が主人公です。第1回目の放映で兼続は「蔵の財よりも身の財、身の財よりも心の財が大切である」と述べていました。「蔵の財」とは、財産でありお金です。しかしそれは「身の財」に比べたら価値が劣る。「身の財」は、健康であり武士であれば武道の腕前であり才能です。お金では買えない価値がある。しかし、最も大切なものは「心の財」であるということです。つまり、「どう生きるとかという人生観。少々の困難が目の前に立ちただかっても負けない心。私欲よりも大義に生き抜く心」こそ、人としての価値があると言っていました。これを今の君たちに当てはめると「蔵の財」＝「知識」、「身の財」＝「健康」、「心の財」＝「希望・勇気」とでもなるでしょうか。「心」の強さや前向きさが「勝利」を引き寄せるのです。

昨年最後の全校集会で紹介しましたが、2年2組のみんなが書いた今年の目標を表す漢字一字はどれもすばらしかったですね。「学」「勉」「真」「勝」「進」「歩」「始」「頑」「幸」など。どの文字も心がこもっています。よしやってみよう！という若々しさが頼もしいかぎりです。年頭です。まだ目標が定まっていない人は、まず目標を明確に立てることから始めましょう。

目標を持たずして望む結果は出ません。これから3月までの短期間は平成20年度の総仕上げであると同時に、平成21年度を決定する大切な時期です。たまにこんな人がいます。ふだんいい加減なことをしている。注意を受けると「やる時はしっかりやる」と、言い返す。しかし、そんなことはできません。地道な取り組みがあってこそ、いざというときに底力が発揮できるのです。

3年生に限らずこの寒い冬だからこそ心がけてほしいこと。それは、「朝に勝つ」ことです。



冬の朝のきりっとした空気は格別ですね。暖かい布団から抜け出すのはちょっと勇気が要りますが、ほうきになったイチョウの大木を見上げて登校してください。

さて、朝の目覚めが良いと1日が価値的に使えます。「早起きは三文の徳」とも言います。そのためには、ぐっすり眠ることです。特に3年生は、夜型から朝型に学習形態を変えていかなければなりません。入学試験は夜には行なわれないからです。眠い目をこすりながら、ぼーっとしてテストを受けても持っている力を十分発揮することはできないでしょう。

最近のさまざまな研究から人間には「体内時計」が存在することが明らかになってきました。これは、体のさまざまな機能は、朝起きることを前提に働いていることを示しています。また、さわやかな朝を迎えるためには、「朝起きたときに光を浴びることが大事です。体内時計は眉間の奥にあり、光をキャッチして朝だと感知します。寝起きのタイミングで強烈な光を浴びると、睡眠のリズムがリセットされて、次の日はちゃんと眠れるようになるのです。これは、起きてしばらくたったあとや、寝ている間では効果がありません。寝起きの、リズムが切り替わるときに、光を浴びる必要があります。目覚まし時計が鳴っているが、まだ眠いという時に、ちょっとがんばって光を浴びるとというのがコツです。」(太田睡眠科学センター所長 佐々木三男氏)

光は太陽光でなくてもいいそうです。どうか、新年のスタートから「朝に勝つ」習慣を付けて目標を達成できるようがんばってほしいものです。

## がんばる二条中生

2008年12月23日(火)17時。  
二条中学吹奏楽部は、京都府立体育館で行われた「ウインター・マーチング・パーティー・イン・京都」に、中学校としては唯一参加。

多くの吹奏楽マーチングファンが集い、温かく楽しい拍手と声援で、盛り上がったショーとなりました。

この日は、午前中 八幡市民ホールでアンサンブルコンテストにも出場しました。大忙しの吹奏楽部でしたが、疲れも見せず「ジーザス・クライスト・スーパースター」を熱演。1・2年生の新チーム大活躍でした。

